

市民・市・医療機関の協力で地域医療を守りましょう

地域の医療体制を維持するために

全国的に医師不足が問題となっている今、特に産科医の急速な減少により、産科医療体制の維持が大きな課題となっています。このような中、飯山赤十字病院では今年4月から泌尿器科医1名、産婦人科医1名を新たに招くことが決定しました。

しかし、今後も続く医師不足の状況下で地域医療を守るためには、私たち市民の心がけや実践も大切。各関係機関と市民が協力して、地域の医療体制を維持しましょう。

飯山赤十字病院に新たに泌尿器科医と産婦人科医

常勤医師の確保に取り組んでいた飯山赤十字病院はこのほど、泌尿器科医師1名、産婦人科医師1名の招聘を発表しました。

泌尿器科は、これまで週2日の非常勤医師による診療のため入院診療ができませんでした。今後は入院診療や手術も可能となります。

また産婦人科は、これまで常勤医師1名の体制で里帰り出産の制限などが行われていましたが、新しい体制では常勤医師が2名となり、安心して郷土で出産できる体制が整います。

一方、内科については、非常勤医師1名が3月に退職するため、今後は月曜日と木曜日は新患者の診療は紹介状持参の場合のみとなります。（他の曜日は紹介状なしで受診できます）この泌尿器科・産婦人科・内科の新しい診療体制はいずれも4月からスタートします。

「北信医療圏」で連携小児科・産科医療の現状

国・県では、産婦人科・小児科医師の不足から、地域の医療体制を維持するため重点化・集約化を進めており、北信医療圏では北信総合病院が連携強化病院とされています。分娩や小児科診療については各医療機関が連携して地域医療を担っています。

また小児科診療は、飯山赤十字病院では昨年春から常勤医師1名体制となったものの、現在も従来の7割程度の外来診療が行われています。しかし入院が必要な場合は北信総合病院へ転院し診療が行われています。

地域の産科医療を守るためご協力をお願いします

不要・不急の時間外受診をしない（小児科も同様）

本当に緊急を要する人が救急医療を受けられるよう、限られた人数で産科医療を担う医師・看護師等、医療スタッフの負担軽減に協力しましょう。

「妊娠」と思ったら早めに医療機関を受診しましょう

「妊娠」と思ったら早めに医療機関を受診し、「母子健康手帳」の交付を受けましょう。
○交付場所・・・飯山市保健センター（市役所向かい）

妊婦検診を受けましょう

妊娠届出時に、県内医療機関で無料で健康審査が受けられる受診票をお渡しします。
飯山市では、今年4月から無料で受診できる回数を5回に拡大します。

妊娠中から育児まで、市保健師が相談を受けています。お気軽にご相談ください。

市役所保健福祉課健康増進係 ☎ 62-3111 内線 187



医師確保への取り組み

市では医師確保のため、昨年より市内出身の医師の実家などを市長や関係職員が訪問。また首都圏に出向き、市出身の著名医師や関係機関への協力依頼などの活動を行ってきました。その結果、数人の医師よりご連絡や飯山赤十字病院への

訪問などがありました。

今後は飯山赤十字病院などと連携しながら、引き続き取り組みを行っていきます。市民の皆さんもお知り合いなどに飯山に来ていただいそうな医師がいらないでしたら、ぜひご紹介いただくようお願いいたします。

健診受診後の保健指導のあり方が大きく変わる！

特定健診。特定保健指導が始まります

市報1月号でお知らせしたとおり、医療制度改革により平成20年度から新たに、メタボリックシンドローム（内臓脂肪型肥満）に着目した「特定健診」が始まります。

また特定健診の結果に応じて、医師・保健師・管理栄養士等の専門家から受けるメタボリックシンドロームの予防・改善に役立つ支援「特定保健指導」も行われるようになります。

「特定保健指導」今までの保健指導との違いは

新しく始まる「特定保健指導」は、特定健診の結果に基づきメタボリックシンドロームの該当者や予備軍の方を対象に行われ、次のような特徴があります。

●特定保健指導の特徴

- ①健診を受けることが重要だった今までと異なり、保健指導に重点をおく
- ②生活習慣病になるもっと前の段階から適正な生活習慣を身につける個別支援をする
- ③健診結果を階層化し、より改善の必要な人に重点的・継続的に保健指導を行う

「特定保健指導」の対象者・内容

健診結果や問診表に基づき生活習慣改善の必要性に応じて、次の3段階に区分され保健指導が実施されます。

■情報提供・・・健康な人も含めすべての健診受診者に対して健康づくりのための情報を提供します。

■動機づけ支援・・・メタボリックシンドローム予備軍など、生活習慣改善の必要性が高い人に対して、自分の生活習慣を振り返り行動目標を立てる事ができるよう支援をします。

■積極的支援・・・メタボリックシンドロームに該当

「特定健診」とは？

40歳から74歳の方を対象に、各保険者（保険証を発行している機関。④国保、健康保険組合）が行う今年4月から始まる新しい健康診査。

保険者には健診を行う義務があり、加入しているすべての方（被扶養者を含む）が対象となります。



すると判定された人に対して、自分の生活習慣を振り返り、行動目標を立て、確実に目標が達成できるように継続的な支援をします。

まずは特定健診の受診を

これからの保健指導は、一人ひとりの生活習慣を振り返り、個人に合った目標・方法を一緒に考え、継続的に支援していきます。長年の積み重ねでたまった内臓脂肪を解消するために、まずは特定健診を受けましょう。

お問い合わせ

市役所保健福祉課健康増進係 ☎ 62-3111 内線 182、187

野沢温泉村で開催の「長野かがやき国体」スキー競技会

飯山市スキークラブの斉藤選手が優勝！

2月20日から22日まで、野沢温泉村において第63回国体冬季大会「長野かがやき国体」スキー競技会が行



△距離成年男子で優勝した斉藤亮選手。（写真提供：北信ローカル）

われ、飯山市からも選手・役員として多くの皆さんが大会に参加しました。

その初日、20日に行われた距離成年男子Bの10キロで、飯山市スキークラブの斉藤亮選手が見事優勝を果たしました。

斉藤選手の活躍もあり、今大会長野県チームはスキー競技の男女総合得点で最高点を獲得し、天皇杯を手にしました。

世界の選手達に市民の温かい声援

W杯Bノルディックコンバインド飯山大会開催



役員の皆さんの努力により、雪不足の中素晴らしいコースが完成。大成功の大会となりました。

2008 FISワールドカップBノルディックコンバインドNAGANOシリーズ飯山大会が2月15日、市営飯山ジャンプと長峰クロスカントリーコースで開催され、世界各国から出場した選手たちにより午前のジャンプ競技、午後のクロスカントリー競技で熱戦が繰り広げられました。時折激しく雪がふぶく悪天候の中、会場には市内の小学生をはじめ1000人以上が応援に駆けつけ、世界各国の選手に温かな声援を送っていました。